

目次

はしがき

序章 グローバル化する世界と新冷戦の始まり

益田 実
齋藤嘉臣
三宅康之

1 グローバルな変容と冷戦秩序の動揺

グローバル化がもたらしたもの 冷戦とグローバル化 本書の視点

2 西側同盟の揺らぎ

デタントの終焉から新冷戦へ 第I部「グローバル化と西側同盟の揺らぎ」各章の概要

3 南北関係の揺らぎ

新たな秩序の模索と新たな紛争 第II部「グローバル化と南北関係の揺らぎ」各章の概要

4 価値・イデオロギーの揺らぎ

近代的普遍主義の時代の終わりの始まり
第III部「グローバル化と価値・イデオロギーの揺らぎ」各章の概要

15

11

7

1

1

第I部 グローバル化と西側同盟の揺らぎ

第1章 西独シユミット外交と独米関係……………妹尾哲志…27

——人権問題をめぐる西側同盟の協調と対立——

1 デタントの陰りと独米関係……………27

一九七〇年代後半のデタントの陰り 「人権問題のグローバル化」と独米関係

2 シユミット政権の東方政策と独米関係——人権問題を中心に……………29

シユミット政権の「現実的緊張緩和政策」と西側重視へのシフト

カーター政権の成立と「人権外交」の始動 「人権外交」へのシユミット政権の対応

ロンドン・サミットとカーターの説得の成功？

3 ベオグラード再検討会議に向けた準備会合とシユミットの訪米……………34

シユミット訪米による事態の打開？ 準備会合後の意見調整の不調

4 本会議（一九七七年一〇月～七八年三月）とその後……………36

本会議での攻防 最終文書の合意へ 本会議に関する評価 その後の独米関係の行方

第2章 ユーロミサイル危機と英独関係……………橋口 豊…49

——NATOとECCをめぐる西側同盟内の協調と対立——

1 ユーロミサイル危機と西側同盟……………49

ユーロミサイル危機の発生 NATOとECCをめぐる同盟内政治

2 キャラハン政権と西側同盟の結束……………52

第4章 アフガニスタン侵攻と英米関係…………… 益田 実… 92

——対ソ制裁をめぐる西側同盟内の対立——

1 サッチャー政権・カーター政権の外交・防衛政策と対ソ戦略…………… 92

英米両国の冷戦認識の相違とグローバル化への異なる対応

反共産主義者・対ソ強硬派としてのサッチャー

保守党政権の対ソ認識とその外交・防衛政策 カーターの「ポスト冷戦」戦略

「危機の弧」と中東・湾岸地域軍事戦略の発展 カーター政権の国際経済戦略の転換

2 ソ連のアフガニスタン侵攻をめぐる英米関係…………… 98

ソ連のアフガニスタン侵攻と英米両国の初期反応

外交的・政治的な非難制裁措置とモスクワ五輪ボイコット

アメリカによる対ソ制裁措置の発表と米欧間の乖離

カーター・ドクトリン イギリスによる限定的な経済制裁措置の採用

アメリカの不满とイギリスによる米欧間の仲介の試み

イギリス政府によるアフガニスタン中立・非同盟化構想の追求

3 「新冷戦」の到来と英米の冷戦政策の乖離…………… 105

カーター政権の戦略再編と西側陣営の亀裂 サッチャー政権のソ連認識

英米間の冷戦認識の相違

第II部 グローバル化と南北関係の揺らぎ

第5章 冷戦と南北問題	山本 健
——新自由主義的グローバル化の背景としての東・西・南関係——	
1 冷戦と開発援助の東・西・南関係	115
南北問題と新自由主義 一九六〇年代末までの南北問題と冷戦	
2 新国際経済秩序と一九七〇年代の東西冷戦	118
石油危機と南北問題の新段階 新国際経済秩序と西側陣営	
新国際経済秩序と東側陣営 ソ連の第三世界への介入と南北問題	
3 東西対立と南北問題	124
BHNとソ連のアフガニスタン侵攻 プラント委員会とカンクン・サミット	
新自由主義的グローバル化へ	
第6章 冷戦期フランスの第三世界援助政策	鳥潟優子
——ヨーロッパ統合とグローバル化への対応——	
1 フランスの援助政策の展開	138
フランスのアフリカ援助政策 冷戦とフランス・ヨーロッパの援助政策	
2 変化の兆し	140
イギリスのEC加盟に伴う綱引き 開発担当欧州委員シェイソンの登場	
3 石油危機の衝撃	143
一九七〇年代・国際秩序の動揺 ECの援助政策——シェイソンによる転換	
フランス主導による南北会議の実現 パリ会合——継続する国際経済協力会議	
途上国援助の「ヨーロッパ化」	
4 グローバル化と南北関係の逆転	150

一九八〇年代の国際環境——金融グローバル化と援助をめぐるパラダイムの転換
一九八〇年代・グローバル化とフランスの援助外交 フランス左翼政権の新植民地主義
冷戦終焉とフランスのアフリカ勢力圏

第7章 カーター政権の南部アフリカ政策とデタントの終結……………三須拓也…161

——シャバ、アンゴラ、オガデン戦争の連環と領土保全原則の浸透——

1 アメリカの南部アフリカ政策と規定要因……………161

領土保全原則の冷戦史的意義 アンゴラ問題と「クラーク修正」条項
カーター政権とアフリカ政策をめぐる路線対立

2 リベラル派と「バックス・アフリカーナ」……………165

第一次シャバ戦争と「人権外交」のジレンマ
「バックス・アフリカーナ」の追求と領土保全原則

3 領土保全原則のジレンマ……………168

対キューバ・デタントの停滞 オガデン戦争の影響

4 強硬派とアンゴラでの懲罰……………171

強硬派の不満とアンゴラ秘密工作の開始 第二次シャバ戦争の勃発とキューバへの策謀
領土保全原則の定着とその代償

第8章 イラン革命と米英関係……………池田 亮…184

——イスラーム主義と冷戦——

1 革命の勃発……………184

人質事件とアメリカ 反体制運動の激化 シャーの退去と革命体制の成立

2	人質危機とアフガニスタン危機	187
	人質危機の発生	
	ソ連のアフガニスタン侵攻	
3	国連使節団の失敗と西側諸国の経済制裁	193
	国連使節団とイラン議会選挙	
	西側諸国による経済制裁	
	議会選挙第二ラウンド	
4	人質解放交渉とイラン・イラク戦争	197
	解放交渉の開始	
	イラン・イラク戦争	
5	イラン革命と冷戦	199
	米英ソの不介入	
	イラン革命と冷戦	
第9章 イギリスのユネスコ脱退と南北問題		
	——グローバル化が国際機構に与えた影響——	
1	ユネスコにおけるマスメディア論争	208
	情報の政治学	
	マスメディア宣言（一九七八年）とマクブライド報告書（八〇年）の採択	
2	ユネスコへの不満の高まり	211
	ユネスコ批判の高まり	
	ユネスコ脱退の検討	
3	ユネスコ脱退論の高まりと条件付き脱退の表明	215
	国内圧力の高まりとサッチャーの反応	
	条件付き脱退の表明	
4	脱退の判断（一九八五年）	220
	脱退の最終的決定	
	脱退の国際政治史的な含意	

第Ⅲ部 グローバル化と価値・イデオロギーの揺らぎ

第10章 「人権の国際化」と東ドイツ……………清水 聡…231

——ヘルシンキ宣言がホーネッカー政権に与えた影響——

1 東ドイツと人権問題……………231

ヘルシンキ宣言と東ドイツ ヘルシンキ宣言と東ドイツに関わる研究史と本章の課題

2 ヘルシンキ宣言への東ドイツの対応過程……………234

CSCCEとヘルシンキ宣言 二国間交渉（東方政策）から多国間交渉（CSCCE）へ
CSCCE交渉における東ドイツの三つの目標 ヘルシンキ宣言と東ドイツ指導部

3 「人権の国際化」と「人権の国内化」——東ドイツの事例……………242

「壁龕社会」と反対派 ハーヴェマンと反対派 ビアマン事件

4 ヘルシンキ宣言と冷戦……………247

ヘルシンキ宣言と東ドイツの反対派
国内冷戦の新たな局面と冷戦終焉に繋がる変化の始まり

第11章 カーター政権のパナマ運河政策……………細田晴子…255

——人権外交と反米ナシヨナリズム——

1 アメリカ帝国主義とパナマ……………255

アメリカ帝国主義と運河建設
アメリカとラテンアメリカの軍部——トリーホスの登場 トリーホスの外交

2	カーター政権の人権政策と運河条約	258
	議会、世論と運河条約交渉	
	公正とモラル	
3	人権外交とは何だったのか	262
	パナマの民主化プロセス	
	人権外交とラテンアメリカ	
	人権外交の変容と冷戦	
第12章	中国の変化は冷戦下の世界にいかなるインパクトを与えたか	275
	——改革開放政策がもたらした国際的な思想的影響——	
1	第一期三中全会前後の政治過程（一九七八～八一年）	275
	鄧小平・陳雲と華国鋒の権力闘争	
	「北京の春」容認から「四つの基本原則」堅持へ	
2	改革開放路線の展開（一九八一～八四年）	280
	経済改革の始動	
	市場経済化へ	
	対外政策の変化	
3	改革開放路線の国際的影響	285
	西側諸国の評価	
	共産圏への影響	
	途上国への波紋	
第13章	新冷戦とヨーロッパの反核運動	295
	——一九八〇年代初頭の西ヨーロッパにおける市民運動の一断面——	
1	グローバル化する市民運動	295
	核抑止に対する反発	
	核戦争への危機意識	
2	イギリスの反核運動	296

3	西ドイツの反核運動……	世論	303
	多様な勢力の結集	反核運動と安保政策	
4	抑止体制のグローバルな正統性のゆらぎ……		309
	東西分断を越えた連携	グローバルに可視化された市民の意思	
第14章	南アフリカへの制裁をめぐるグローバルな圧力……	小川浩之……	316
	——冷戦秩序の揺らぎとアパルトヘイトの終焉へ——		
1	冷戦とグローバル化の中のアパルトヘイト……		316
	マスメディアの発達と反アパルトヘイト運動	音楽とスポーツ	
2	アパルトヘイトと南アフリカへの武器禁輸……		322
	シャープシュール事件と自主的な武器禁輸	ソウエト蜂起、ビコの殺害と強制的な武器禁輸	
3	経済制裁とアパルトヘイト終焉への道……		326
	サッチャー政権と南アフリカへの経済制裁問題	グローバルな圧力とアパルトヘイトの終焉	
	レーガン政権と南アフリカへの経済制裁問題		